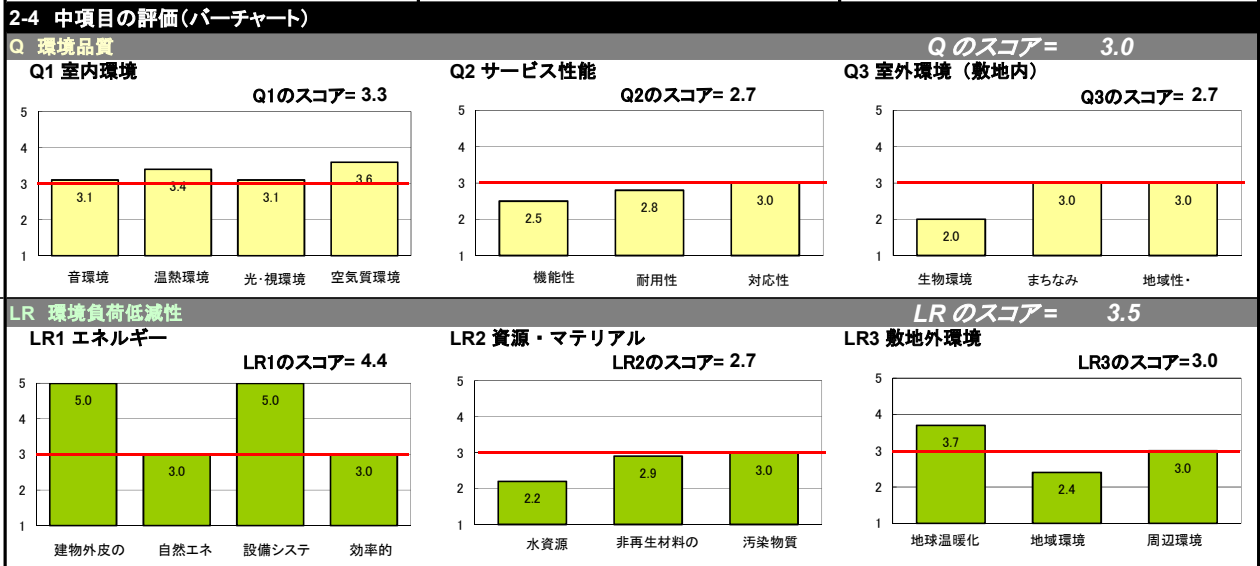
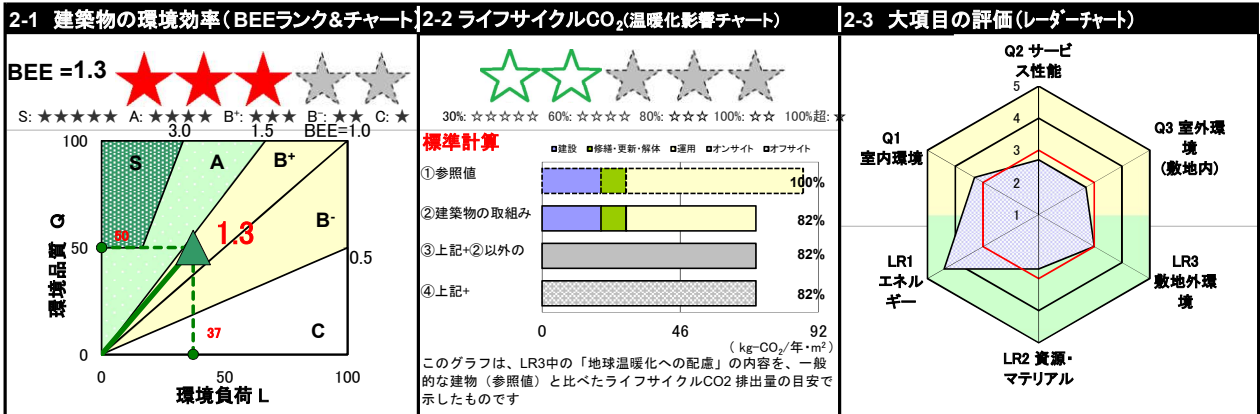


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)南林間計画 新築工事	階数	地上15F
建設地	大和市林間二丁目3270番142	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域・第一種中高層住居専用地域/準防火地域	平均居住人員	577人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年1月5日
敷地面積	6,641㎡	作成者	(株)長谷工エコーポレーション
建築面積	1,970㎡	確認日	2023年1月5日
延床面積	15,298㎡	確認者	(株)長谷工エコーポレーション



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
「まちと共鳴する南林間のランドマーク」をコンセプトして掲げ、自然や歴史が多く残る南林間の地で、まちと共鳴しながらまちの再生による新たな顔を象徴するような都会的で南林間のランドマークとなるような存在感のある住宅を提案する。	0	
Q1 室内環境 ・住宅性能評価5-1における等級4を超える水準の断熱性能を満たす。 ・F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 ・給水VP(B)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用。	Q3 室外環境(敷地内) -
LR1 エネルギー ・住宅性能評価5-1における等級4を超える水準の断熱性能を満たす。	LR2 資源・マテリアル -	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率82%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと